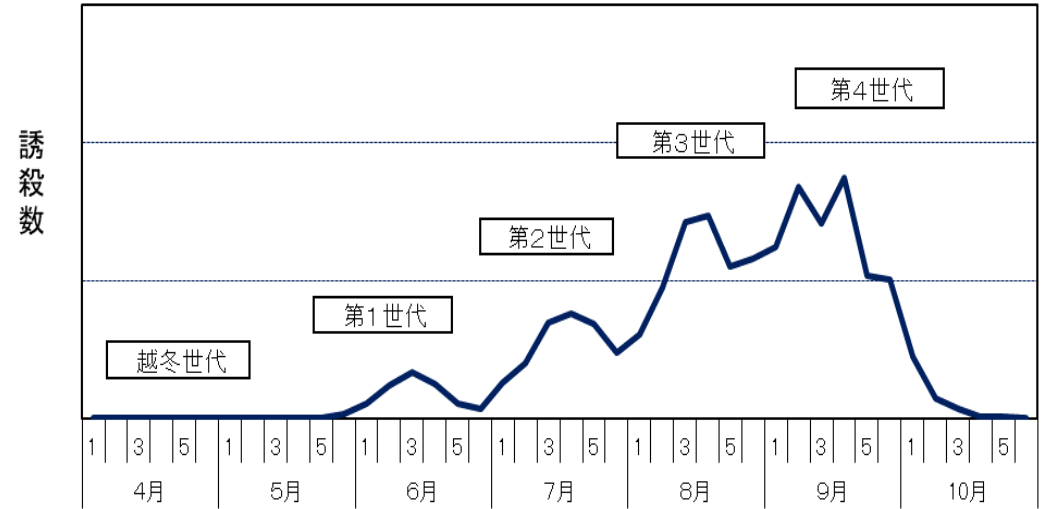


キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病虫害防除部

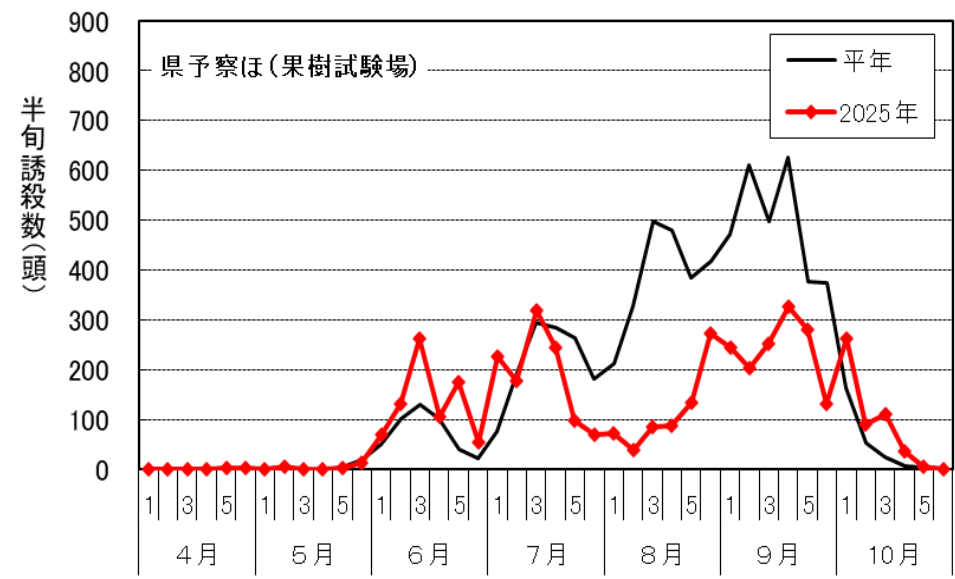
過去10年間の消長模式図（果樹試験場内 県予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

- ・年4～5回発生する。
- ・越冬世代成虫は4月中旬頃、第1世代成虫は5月下旬～6月中旬、第2世代成虫は7月上旬中旬、第3世代成虫は8月上旬～下旬、第4世代成虫は9月以降に発生する。
- ・第3世代成虫以降は発生が重なり合い、世代の区切りがはっきりしない。
- ・第2、3世代成虫の発生初期にあたる7月上旬、8月上旬が重要な防除時期である。

○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



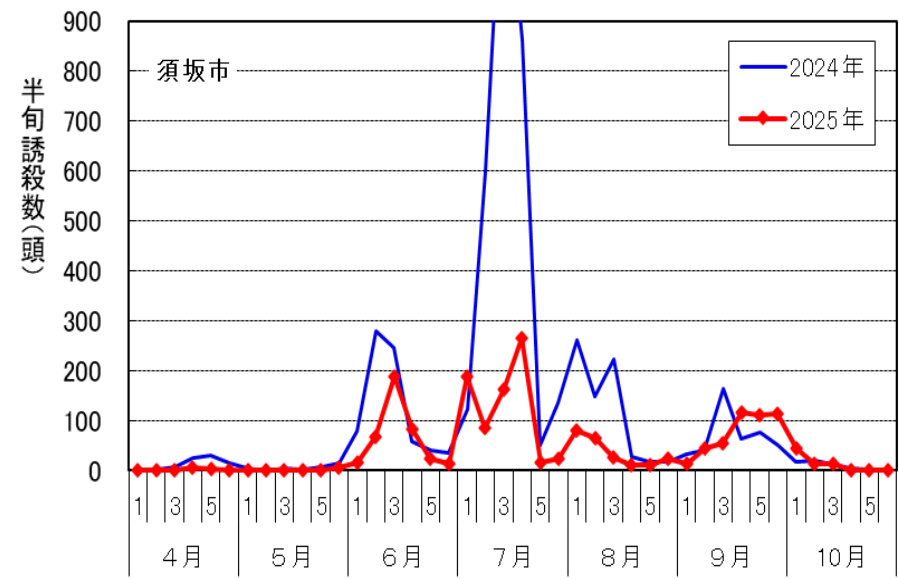
【調査地点】（標高約350m）

- ・須坂市 果樹試験場（りんごほ場）
- ・平成は2015年～2024年の平均値。

【コメント】

- ・栽培期間の前半（第1、2世代）は平成を上回る頭数が誘殺されていたが、後半（第3、4世代）はほぼ平成の半数以下の状況の年であった。
- ・10月に入っても200頭を超える誘殺が観察されたうえ、第3半旬でも100頭を超える数が記録され、発生期間の長期化の兆しがみられた。

○須坂市（病虫害防除部）



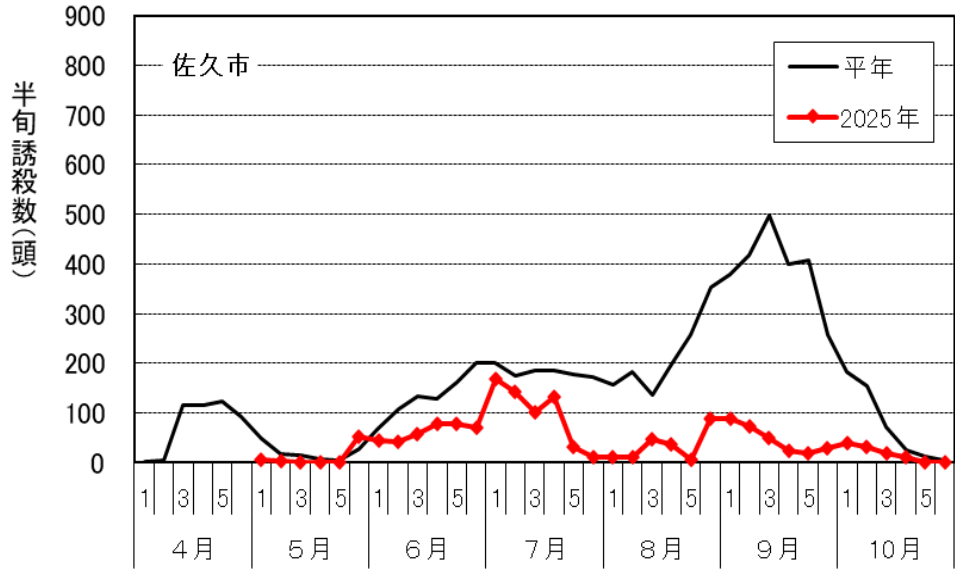
【調査地点】（標高約370m）

- ・須坂市（りんごほ場）
- ・2023年からほ場を変更したため、平成値なし。

【コメント】

- ・昨年に比べ誘殺数が少なく、特に夏場の第2世代の誘殺頭数が昨年よりかなり少なかった。
- ・終盤の第4世代の発生は昨年より遅くまで高いまま継続し、発生期間の延長傾向が認められた。

○佐久市（佐久農業農村支援センター調査協力）



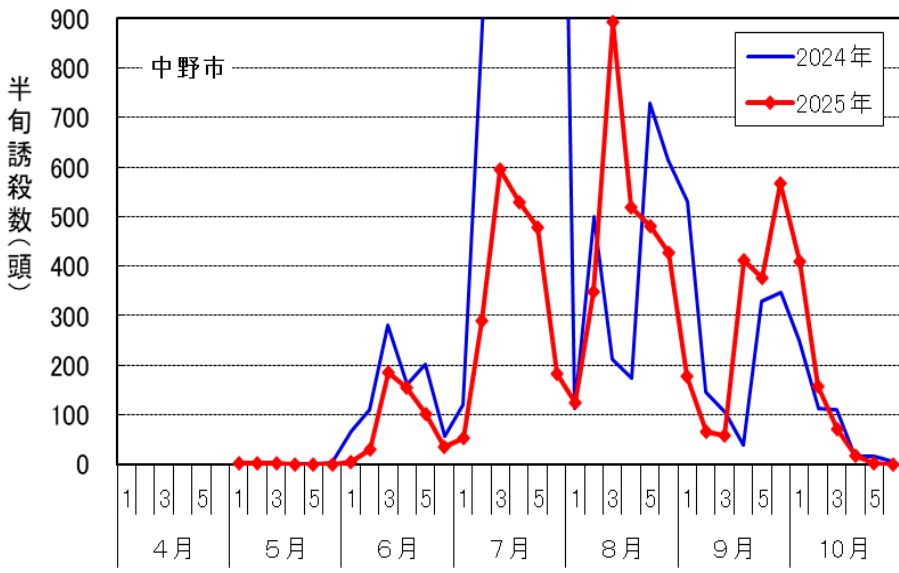
【調査地点】（標高約680m）

- ・佐久市（りんごほ場）
- ・平成は2015年～2024年の平均値。

【コメント】

- ・ほかの地区と比べて誘殺頭数の変動幅が小さい傾向がみられた。
- ・栽培期間を通して、平成より誘殺頭数が少ない年であり、特に9月以降の秋の誘殺頭数が平成より大幅に少なかった。

○中野市（病虫害発生予察ほ）



【調査地点】（標高約450m）

- ・中野市（りんごほ場）
- ・2023年にほ場を変更したため、平成値なし。

【コメント】

- ・栽培期間の前半（第1、2世代）の誘殺頭数は前年より少なく、後半（第3、4世代）は前年より多かった。
- ・誘殺頭数の変動が他の地区よりかなり大きかった。